



平成21年1月5日

第 3 号

宮城教育大学ESD・RCE推進会議から、学内外のESD・RCEの取り組みやニュースをお知らせします。

・これまでのESD関連事業報告

1. 国連大学グローバルセミナー 第7回東北セッション

本セミナーは、国連大学が「現代社会が直面している地球規模の問題と国際連合の取り組みについての意識を高めることを目的」として、全国7つの地域で展開しているセミナーです。今回の第7回東北セッションは、宮城教育大学が中心になって企画し、「地球をささえるヒューマンリソース - いま教育にできること」というテーマで9月20日(土)から23日(火)の4日間にわたって開催されました。

参加者は、北海道から京都にまたがる大学生、大学院生、社会人全66名で、それらの参加者は、東北地方の各大学推薦のプログラム委員のアドバイスを受けながら、四日間寝食を共にし、英語でそして日本語で討論を行います。驚かされたのはセミナーに参加した方々の学習意識の高さです。ハードな日程にもかかわらず最後まで一人の脱落者もなく、また、講義が終わるとすぐに質問が出て、退出される講師の先生を取り囲んでまた質問する熱心さでした。

最後にどうやって自分たち自身が行動すればよいのかについて、実践を行動に移すためのコミュニケーション力について学んでから、参加者による発表会で締めくくりとしました。



2. ユネスコ・スクールの集いと支援大学間ネットワークの構築

平成20年11月8日(土)宮城教育大学において、『ユネスコ・スクールの集い』ユネスコ・スクール・ネットワーク会議が開催されました。

当日は、全国の教育委員会や小中高、大学の教員、ユネスコ関係者ら約80人が出席し、アジア5カ国(バングラディシュ・中国・韓国・フィリピン・タイ)によるESDの取り組み発表や、各参加校の持続発展教育の取り組みや課題、大学との連携のあり方等を議論しました。

また、ユネスコ・スクールの加盟校を支援する大学間ネットワークの構築をめざし、岩手大学、岡山大学、金沢大学、玉川大学などから関係者が出席しました。この大学間ネットワークには、他大学からも参加希望があり、今後、関係者によりユネスコ・スクール支援のための合意書を作成し、スタートする予定です。

今回の『ユネスコ・スクールの集い』ユネスコ・スクール・ネットワーク会議は、12月2日～5日開催のESD国際フォーラム（主催：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、国連教育科学文化機関（ユネスコ）、財団法人ユネスコ・アジア文化センター、共催：国連大学、宮城教育大学）のプレイベントとして位置付けられています。



3. ESD 国際フォーラム 2008

平成20年12月2日（火）～5日（金）に国連大学（渋谷区）において、国連大学・宮教大共催で【ESD国際フォーラム2008】が開催されました。

塩谷文部科学大臣の挨拶後、松浦晃一郎ユネスコ事務局長（代読・ユネスコ教育局国連優先課題調整部長のマーク・リッチモンド氏）から、人類は地球が1個しかないのに、1.4個分の消費をしていること、グローバル・ローカル・中間で考えなければならないこと、利害関係者からお互いに学ぶことなど“need”について、考えていかなければならない等の挨拶がありました。

また、今年の9月に開催しました、国連大学グローバルセミナーの基調講演・講師の吉川弘之日本ユネスコ国内委員会前会長による「ESDがもたらす可能性と期待」と題した講話がありました。そのなかで、人間を生きさせてくれた自然・環境と共生して生きる、多様ではあるが人類一体となってESDに取り組む必要性など話されました。



・今後の事業予定

1月28日（水）	国際協カイニシアティブ事業シンポジウム
2月7日（土）	みやぎパートナーシップ推進事業
2月9日（月）～10日（火）	第2回アジアRCE若者会議
2月11日（水）	第3回国内RCE担当者会議
2月22日（日）～23日（月）	国際協力ESDシンポジウム
2月28日（土）	特別支援教育フォーラム